



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2022年9月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要面をみると、個人消費は、全体として持ち直しの動きが続いているものの、感染症拡大の影響により一部に足踏み感がみられている。観光は持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は弱めの動きとなっている。設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに拡がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、感染症の影響の和らぎや、西九州新幹線の開業効果が期待される一方で、エネルギー価格・原材料コストの上昇、供給制約、海外の金融経済情勢等が、企業収益や個人消費に及ぼす影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、全体として持ち直しの動きが続いているものの、感染症拡大の影響により一部に足踏み感がみられている。財消費は堅調に推移している。サービス消費は全体として改善の動きが続いているものの、感染症の影響から飲食を中心に客足の回復が鈍化している。

7月の商業動態統計は、前年を上回った。8月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、持ち直している。

7月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

7月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

7月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

2022年度の設備投資（2022年6月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

7月の建築物着工床面積は、前年を大幅に上回った。

2. 生産

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。造船は、横ばい圏内で推移している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

7月の有効求人倍率は、1.15倍となった。6月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

7月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

5. 金融

7月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

7月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年7月公表分)	今回 (2022年9月公表分)
景気全体 (据え置き)	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。
個人消費 (引き下げ) (7か月ぶり)	飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きが続いている。	<u>全体として持ち直しの動きが続いているものの、感染症拡大の影響により一部に足踏み感がみられている。</u>
観光 (据え置き)	持ち直している。	持ち直している。
住宅投資 (据え置き)	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
公共投資 (引き下げ) (3か月ぶり)	このところ弱めの動きとなっているが、高水準で推移している。	<u>弱めの動きとなっている。</u>
設備投資 (引き上げ) (1年2か月ぶり)	大型案件が寄与して増加している。	<u>大型案件が寄与して大幅に増加している。</u>
生産 (引き上げ) (10か月ぶり)	緩やかな増加基調にある。	<u>電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。</u>
雇用・所得 (据え置き)	労働需給は改善の動きに拮抗がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	労働需給は改善の動きに拮抗がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

(注) 下線は、前回からの変更・追加。